



R7年度及びR8年度
香南市未来戦略 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)評価書

KPI…
Key Performance Indicatorの略称
「ケーピーアイ」と読み、日本語では「重要業績指標」等と訳される。

(目次)

○香南市未来戦略 基本目標 及び 施策一覧	P1
○ 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書 (「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進)	P4
○ 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書 (こどもまんなか香南市の実現)	P25
○ 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書 (魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進)	P36

令和8年6月

【令和7年度末実績】
【令和8年度事業 】

香 南 市

「数値目標等に対する客観的評価」の方法

○達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により3段階評価を実施

			R7.3月末 実績
区分	評価基準		事業数 (数値目標含む)
A	総合戦略の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、または、状況を改善できたもの	・ 数値目標を達成したもの → 数値目標の達成率(または達成見込み率)が100%以上	19
B		・ 数値目標をほぼ達成したもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%以上100%未満	18
C	・ 数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%未満		10
	・ 総合戦略の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの		
-	・ 年度の到達目標値が0 または、当該年度未着手のため達成状況が図れないもの 等		1
R7年度 数値目標 9事業			48

R7年度 具体的な施策 38事業(指数は39事業)

香南市未来戦略 基本目標 及び 施策一覧

基本目標「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進							
数値目標			基準値 (R5年度末)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)	目標値 (R9年度)	備考
			実績	実績	実績	実績	関係課
[1] 社会増減数（人）			4	115	115	115	香南市振興計画
			-	36			
			達成評価 (A/B/C/-)	C			
[2] 県外からの移住者数（人）			184	204	224	244	高知県人口減少対策総合交付金 記載目標値
			-	166			
			達成評価 (A/B/C/-)	B			
具体的な施策			基準値 (R5年度実績)	目標値 実績	目標値 実績	目標値 実績	紐づく事業
1	移住を希望する若者 への対応強化 (1) 移 住 (2) 定 住	市移住HPのアクセス数 (件)	106,070	113,000	116,500	120,000	(移住) 移住フェアへの参加 地域おこし協力隊の登用 地域移住サポーターの活動 地方創生移住支援事業 空き家バンク制度の運営 移住定住促進空き家活用住宅事業 (お試し滞在住宅) 二段階移住 ワーキングホリデー事業 引越し支援事業 移住相談の対応 ちょいなかこうなん県外交流イベント SNS等を活用した情報発信 等 (定住) 移住者交流会の開催 地域移住サポーターとの連携 移住者へのフォロー 移住施策の事業紹介や情報の発信 等
			-	90,338			
			達成評価 (A/B/C/-)	B			
		お試し滞在住宅の稼働率 (%)	85	86	86	86	
			55.7	33.0			
			達成評価 (A/B/C/-)	C			
2	空き家活用等の促進 (1) 空き家の利活用	空き家バンクの新規登録数 (軒)	16	14	14	14	老朽住宅等除却事業 空き家改修事業 (再掲) 空き家バンク制度の運営
			-	8			
			達成評価 (A/B/C/-)	C			
3	地域コミュニティの強化 (1) 地域活動の充実	自治会組織結成率(%)	92.6	93			

香南市未来戦略 基本目標 及び 施策一覧

基本目標 こどもまんなか香南市の実現								
数値目標			基準値 (R5年)	目標値 (R7年)	目標値 (R8年)	目標値 (R9年)	備 考	関係課
			実績	実績	実績	実績		
[1] 出生数 (人)			194	191	203	206	高知県人口減少対策総合交付金 記載目標値	企画財政課
			-	195				
			達成評価 (A/B/C/-)	A				
具体的な施策			基準値 (R5年度実績)	目標値 実績	目標値 実績	目標値 実績	紐づく事業	関係課
1	妊娠・出産に関する体制 の充実 (1)妊娠・出産期	この地域で子育てをしたい と思う親の割合 (%)	97.1	97.3	97.5	97.8	不妊治療費助成事業(一般・特定) 妊娠出産子育て支援事業 パパママ教室事業 産前産後ヘルパー派遣事業 妊産婦・乳児健康診査事業 乳幼児等医療費助成事業 産後ケア事業 新生児聴覚検査事業 地域子育て支援拠点事業 香南市の森からの贈り物事業 養育支援訪問事業 子育て情報の発信 ひとり親家庭医療費助成事業 等	健康対策課 福祉事務所 こども課 生涯学習課 市民保険課
			-	98.3				
			達成評価 (A/B/C/-)	A				
2	子育てに関する体制の 充実 (1)乳幼児期 (2)就学期	総合子育て支援センター 「にこなん」利用者数(人)	11,437	13,000	13,500	14,000	(1)乳幼児期 一時預かり事業 延長保育事業 病後児保育事業 幼稚園等預かり保育事業 子育て短期支援事業 多子世帯保育料軽減事業 等 (2)就学期 放課後児童健全育成事業 チャレンジ塾事業 香南市就学援助費支給事業 市営バス運賃無料化(高校生以下等)等 (再掲) ファミリーサポートセンター事業	健康対策課 福祉事務所 こども課 学校教育課 生涯学習課 地域支援課
			-	15,186				
			達成評価 (A/B/C/-)	A				
		放課後児童クラブの 利用者数(人)	457	450	450	450		
			-	458				
			達成評価 (A/B/C/-)	A				
		ファミリー						

香南市未来戦略 基本目標 及び 施策一覧

基本目標 魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進									
数値目標			基準値 (R5年度末)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)	目標値 (R9年度)	備 考	関係課	
			実績	実績	実績	実績			
[1] (農業)	新規就農者数 (人)		8	10	10	10	第3期 香南市産業振興計画	農林水産課	
			-	7					
		達成評価 (A/B/C/-)	B						
[2] (水産業)	沿岸漁業総生産額 (百万円)		241	280	285	290	第3期 香南市産業振興計画	農林水産課	
			-	246					
		達成評価 (A/B/C/-)	B						
[3] (商業)	商業者数 (事業所)		770	764	761	758	第3期 香南市産業振興計画	商工観光課	
			-	735					
		達成評価 (A/B/C/-)	B						
[4] (工業)	製造品出荷額 (億円)		387	397	407	417	第3期 香南市産業振興計画	商工観光課	
			-	-					
		達成評価 (A/B/C/-)	-						
[5] (工業)	新規雇用者数 (人)		11	16	11	11	第3期 香南市産業振興計画	商工観光課	
			-	21					
		達成評価 (A/B/C/-)	A						
[6] (観光)	観光施設入込客数 (万人)		101.8	108	110	112	第3期 香南市産業振興計画	商工観光課	
			-	100					

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標	「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進					地域支援課		
移住・定住	数値目標	基準値	実績値			最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)	
	〔2〕 県外からの 移住者数 (人)	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(累計)		
		184	166			166		
	年度ごとの 到達目標値		204	224	244	672		
	達成評価 (A/B/C/-)		B					
	(実績根拠) (目標設定)	(実績根拠) 高知県が毎年公表する移住者数と組数(年度) (目標設定) 高知県人口減少対策総合交付金の求める「R15年度までにR4年度の数字(184人)に戻す」ことを前提とした設定。 R5年度まで各市町村の判断で移住者を計上していたが、R6年度より県内で基準を統一。 このことから、R5年度(基準値)を、R6年度より統一された基準による数値で設定。 R5年度の45人をR6年度より統一された基準に合わせると185人						
	備考 取り組み実績の 補足や 当事業の課題 を記載	(P) R7年度の取り組み ・夏と冬に東京・大阪で開催する県主催の移住相談会に参加する。 ・高知まんなか4市(高知市・南国市・香美市・香南市)合同事業として、東京での移住相談会を2月に実施予定。 また、まんなか4市の移住情報が分かる合同パンフレットを作成する。 ・香南市単独事業として「ちょいなかこうなん県外交流イベント」を大阪で開催する。 関西圏の34歳以下の移住希望者をターゲットとした交流会をきっかけに、ふるさとワーキングホリデーやお試し滞在住宅の利用等につなげ、関係人口を増やし、香南市への移住につなげていく。 ・関係人口の拡大を図るためのワーキングホリデー事業や、移住後のアフターフォローとして移住者交流会(R7.秋頃)を実施し、定住につなげていく。 ・移住検討の手段として整備しているお試し滞在住宅を活用いただき、移住促進につなげていく。						
		(D) これまで(R7年度)の取り組み ・R7.6.7 移住者交流会(デイキャンプとこうなん森遊び♪)開催 ・R7.6.28 高知暮らしフェア夏in大阪 ・R7.6.29 高知暮らしフェア夏in東京 ・R7.9.28 南国市×香南市×香美市 オンラインイベント ・R7.10.8 ちょいなかこうなん県外移住イベントPR開始 ・R7.11.8 ちょいなかこうなん県外移住イベント(大阪) ・R7.12 高知まんなかエリアガイドブック作成 ・R7.12.14 高知暮らしフェア冬in東京 ・R8.1.17 高知暮らしフェア冬in大阪 ・R8. 2.22 高知まんなか移住相談会(東京) ワーキングホリデー参加者数 10人 お試し滞在住宅稼働率 32.9%(西川28.7%・夜須37.2%)						
		(C) 数値目標達成に向けた課題等 内容を工夫した魅力的な情報発信や、県外移住イベントの開催等により、香南市の認知度を高めるとともに、 <u>移住検討者のニーズに対応できるよう関係課と連携を強化した取り組みを引き続き行っていく必要がある。</u> 移住検討者のニーズに対応できるように、R7年度に整備したお試し滞在住宅「野市」がR8年度から稼働することから、3棟の運用を計画的に進めていく必要がある。						
		(A) 課題解決等に向けた取り組み 引き続き効果的な情報発信や様々な移住定住施策を実施していくとともに、R8年度には、お試し滞在住宅「野市」の開設や地域おこし協力隊の採用による移住専門相談員の配置等により、事業の強化を図り、移住者の増加に向けた取り組みを行う。						

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

重要業績評価指標(KPI)								
具体的な 施策	(2) 定住							
	数値目標	基準値	実績値			最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)	
重要業績 評価指標 (KPI)	お試し滞在 住宅の 稼働率(%)	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(最終)		
		55.7	33.0			0.0		
			86	86	86	86		
			C					
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	(実績根拠) お試し滞在住宅の稼働率 (目標設定) 第2次香南市振興計画 (事業内容) 移住を検討している方に香南暮らしを体験してもらうため、香我美町にお試し滞在住宅「西川」を整備し、利用期間中の生活やイベントへの参加を通して地域の方との交流を深めることで、移住に対する不安の解消と移住促進につなげる。						
	R7年度 (P)当初プラン	移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率を「第2次香南市振興計画」から86%の目標としている。 香我美町西川のお試し滞在住宅に加え、海暮らしが体験できる施設を夜須町に新たに整備した。希望する施設を利用いただき、香南暮らしが体験できる機会を増やすことで、移住者の獲得につなげていく。さらに移住相談でニーズのあった街暮らしも体験できるよう、野市町に新たな施設を整備していく。 (複数のお試し滞在住宅があることで、予約が重なったときに対応できるようになる。)						
	(D)取り組み内容	・お試し滞在住宅「西川」：利用者 2件・・・稼働率 28.7% ・お試し滞在住宅「夜須」：利用者 3件・・・稼働率 37.2% ・2施設合計の平均稼働率・・・32.9%						
	(C)課題等	・利用を検討される時期が同時期となり、 重複申込が発生 。(7月に1組のロス) ・ 移住に対して本気度の高い利用希望者を事前の相談時に見極めることが課題 となっている。						
	(A)今後の取り組み	R8年度より、市HPにお試し滞在住宅の空室状況を可視化できるようにすることで、移住検討者の利用希望時期の重複解消を図る。 ただし、低料金の宿泊施設として利用されないよう、事前の移住相談において、目的等をしっかりと聞き取り、本気度の高い移住検討者に利用いただけるよう取り組む。 R7年度に野市町にお試し滞在住宅を整備し、計3棟となったことから、多くの方を受入れるように運営を図る。						
	R8年度 (P)当初プラン	香我美町西川のお試し滞在住宅、夜須町のお試し滞在住宅に加え、R7年度には街暮らしが体験できる施設を野市町に整備した。 お試し滞在住宅は、市内に計3棟となったことから、希望する施設を利用いただき、香南暮らしが体験できる機会を増やすことで移住者の獲得につなげていく。 複数のお試し滞在住宅があることで、予約が重なったときに対応できるようになる。						
	(D)取り組み内容							
	(C)課題等							
	(A)今後の取り組み							
担当課名		地域支援課			評価・検証 実施時期	令和8年3月末		

令和7

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

具体的な施策	(1) 地域活動の充実						
	数値目標	基準値	実績値			最終目標値	最終年度達成評価 (A/B/C/-)
重要業績評価指標 (KPI)	いきいきクラブ 実施地区数 (地区)	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(最終)	
		36	34	-		0	
	年度ごとの 到達目標値		36	36	36	36	
	達成評価 (A/B/C/-)		B				(- %)
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	(実績根拠) 市内で開催されるいきいきクラブの地区数 (目標設定) 香南市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 (事業内容) 地域で運営している、高齢者が気軽に集まれる交流の場、仲間づくりの場として運営されているいきいきクラブを開催し、体操やレクリエーション等の介護予防活動を実施することで、フレイル等の対策につなげる。					
	R7年度 (P)当初プラン	参加者も減少しており、活動継続が困難になる可能性があるが、高齢者が身近な集会所や公民館等に集い、閉じこもり予防や運動習慣の動機付けを図り介護予防を図るため、実施地区の維持に努める。 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」に合わせて、アンケートを行い参加者の実態把握を行う。 また、調査結果に基づいてメニューの提案や健康教育への活用を行い、フレイル等の対策を実施する。 加えて、ケーブルテレビや市広報等で事業紹介を行い、普及啓発をしながら新規参加者の獲得に努める。					
	(D)取り組み内容	・支援員を派遣し、補助金申請や各地区の活動の補助・支援を実施。 ・普及啓発・新規参加者獲得のためケーブルテレビにて事業紹介を実施。 ・フレイル対策の普及・啓発のため、代表者研修会等を実施。 ・R7年度から新宮つばみ会が新規活動開始。(1増)					
	(C)課題等	<u>参加者、ボランティアともに高齢化が進み、活動継続が困難な地区が増えてきている。(R7年度...3減)</u> <u>地域の担い手の育成、参加者主体の集いの場づくりを行うことが課題</u> となっている。					
	(A)今後の取り組み	引き続き地域の担い手の育成と、参加者主体の活動の支援を実施。 「高齢者の保健活動と介護予防の一体的実施事業」にて、調査結果をもとに実態を踏まえた予防対策を検討し、健康教育や活動メニューの活用につなげ、フレイル等の対策を継続して行う。					
	R8年度 (P)当初プラン	参加者、代表者とも高齢化により活動継続が困難になっているが、高齢者が身近な集会所や公民館等に集い、閉じこもり予防や運動習慣の動機付けを図り介護予防を図るため、実施地区の維持に努める。 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」に合わせて、アンケートを行い参加者の実態把握を行う。 また、調査結果に基づいて健康教育等への活用を行い、フレイル等の対策を実施する。 補助金申請や事業計画等の作成時、支援員を派遣し、地区主体の活動ができるよう支援する。 加えて、ケーブルテレビ や市広報等で事業紹介を行い、普及啓発をしながら新規参加者の獲得に努める。					
	(D)取り組み内容						
	(C)課題等						
	(A)今後の取り組み						

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標	「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進					4
基本的方向	4.災害に強いまちづくり					
	「自助・共助」を基盤とした防災・減災のまちづくりを推進し、市民の意識向上や環境整備に取り組み、「いざという時に支え合える地域力」をさらに強化する。					
重要業績評価指標(KPI)						
具体的な施策	(1) 自主防災組織の設立・活性化と地域の支え合える体制づくり					
重要業績評価指標(KPI)	数値目標	基準値	実績値			最終目標値
	事前復興まちづくり計画の策定	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(最終)
		-	素案作成中			
	年度ごとの到達目標値		基本計画策定	地域協議	計画策定	計画策定
	達成評価(A/B/C/-)		A			(- %)
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	当初 (実績根拠) ワークショップにより地域との合意の上で作成した本市の「事前復興まちづくり計画」の完成 (目標設定) 地域防災計画・第2次香南市振興計画 (事業内容) 香南市事前復興まちづくり計画の策定に向け、防災対策課以外に商工観光課、農林水産課、学校教育課等13部署で構成する庁内プロジェクトチームを設置し、R5年度より取り組みを進めている。 R7年度に「事前復興まちづくり計画」の素案となる「事前復興まちづくり計画(基本計画)」を策定し、R8年度からワークショップを開催し、被災後の新しいまちづくりに向けて、地域の方々と協議を実施する。 (WS予定) R8年度 ... 各町ごとに2回(計10回)のWSを開催 R9年度 ... 各町ごとに最終WS(計5回)を開催し、当計画を策定。				
	R7年度 (P)当初プラン	R7年度に庁内プロジェクトチームにより「事前復興まちづくり計画(基本計画)」を策定し、各町ごとのワークショップを経て「事前復興まちづくり計画」を策定する。				
	(D)取り組み内容	R7.8.22に庁内プロジェクトチーム会を開催し、事前復興の検討を進める対象区域の選定について意見交換を行い、浸水想定や地域特性を踏まえた候補区域を検討した。 また、事前復興に関する住民アンケートについては、設問内容や対象者、実施方法等について協議し、住民意向を的確に把握するための方向性を確認した。				
	(C)課題等	土地利用のゾーニングの具体化や住民が参加しやすいワークショップの開催方法の検討に加え、次年度以降の継続的な取り組みについて検討する必要がある。				
	(A)今後の取り組み	実施した住民アンケートを取りまとめ、内容の分析・評価を行い、地域の実情や被災後のまちづくりに関するニーズを把握し、土地利用の具体化を進めるとともに、庁内プロジェクトチーム会や住民ワークショップ等を行い、事前復興まちづくり計画の内容を充実させる。				
	R8年度 (P)当初プラン	R8年度に住民ワークショップを開催し、計画策定に向けて地域との協議を行う。また、庁内プロジェクトチーム会も引き続き開催する。				
	(D)取り組み内容					
	(C)課題等					

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

具体的な施策	(1) 世代を超えた交流						
	数値目標	基準値	実績値			最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)
重要業績 評価指標 (KPI)	地域コミュニティの活性化に資するスポーツ関連イベントの開催数(回)	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(累計)	
		18	17			17	
	年度ごとの到達目標値		15	20	20	55	
	達成評価 (A/B/C/-)		A				(- %)
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	(実績根拠) 町民運動会、町内駅伝大会、各種市長杯実施回数 (目標設定) 第2次香南市振興計画後期基本計画・第2期香南市教育振興基本計画・香南市教育行政方針 (事業内容) スポーツを通じた活力あるまちづくりを推進するため、市民同士のコミュニケーションの促進や交流人口の拡大に寄与するさまざまなスポーツイベントの開催を支援する。 スポーツ関連団体等と連携して、スポーツを通じた経済・地域の活性化に努める必要がある。					
	R7年度 (P)当初プラン	新型コロナウイルスの影響もなくなり、数多くの大会やイベントが開催できるようになった。 地域コミュニティを維持・活性化していくためにも、軽スポーツ等を普及する等継続して取り組む。					
	(D)取り組み内容	○地域別の運動会(4回) : 10/5 野市地区 約300名、10/26 夜須地区 約300名、赤岡地区 約170名、吉川地区 約130名 ○駅伝大会(3回) : 1/11 香我美地区132名、1/12 野市地区141名、1/18 夜須地区 72名 ○市長杯(10回) : 5/4~5 市長旗中学校招待野球大会、12団体 191名参加 6/1・7 市長旗争奪小学生野球大会、8団体 120名参加 6/8 市長杯バドミントン大会、18団体 81名参加 / 市長杯卓球大会 28団体 127名参加 6/15 市長杯ソフトバレーボール大会 10団体 50名参加 9/13~14 市長杯サッカー大会(小学生の部) 23団体 480名参加 9/20~21 市長杯サッカー大会(中学生の部) 12団体 340名参加 10/26 市長杯パークゴルフ大会 50名参加 3/18 市長杯オープンゴルフ大会 34名参加 3/21 市長杯ミックスダブルステニス大会 42団体 84名参加 計17のスポーツ関連イベントを実施し、地域コミュニティの活性化につながっている。					
	(C)課題等	市民のスポーツ交流の場として、多くの大会やイベントが開催できている。					
	(A)今後の取り組み	引き続き、地域コミュニティを維持・活性化していくために、軽スポーツ等を普及する等継続して取り組む。					
	R8年度 (P)当初プラン	地域コミュニティを維持・活性化していくためにも、誰もが気軽にスポーツに取り組めるきっかけづくりとスポーツの楽しさを知ってもらうことができる軽スポーツ等を普及する等継続して取り組む。 また、モルックの貸出についても幅広く周知を行い、軽スポーツに触れる機会を拡充します。					
	(D)取り組み内容						
	(C)課題等						
	(A)今後の取り組み						

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標	こどもまんなか香南市の実現					健康対策課
基本的方向	1.妊娠・出産に関する体制の充実 2.子育てに関する体制の充実 3.地域と連携した子育ての推進 (再掲) 4.出会い・結婚に対する支援					
出産 子育て	数値目標	基準値	実績値		最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)
	[1] 出生数 (人)	R5年	R7年	R8年	R9年	R9年(累計)
		194	195			195
	年度ごとの 到達目標値		191	203	206	600
	達成評価 (A/B/C/-)		A			(- %)
	(実績根拠) (目標設定)	(実績根拠) 高知県健康づくり支援システムにおいて公表される実績 実績は暦年(1月～12月)の出生数 公表は毎年翌年11月頃。 (目標設定) 高知県人口減少対策総合交付金の求める「R15年度までにR4年度の数字(211人)に戻す」ことを前提 とした設定。				
	備考 取り組み実績の 補足や 当事業の課題 を記載	(P) R7年度の取り組み 個々の価値観を尊重しながら、誰もが望むタイミングで安心して出産・子育てができる環境を整えるため、引き続き、各事業 の進捗状況等を確認し、選択と集中を以て、ライフステージに応じた切れ目のない支援を取り組むことで、香南市で子育て することの満足度向上につなげ、将来の出生数向上を目指す。				
		(D) これまで(R7年度)の取り組み 参考 R7.1～12月:195人 / R7.4～R8.3月:190人 地区担当保健師が、妊婦全員に伴走型支援として妊娠届出時の面談から妊娠後期の状況確認、出産後は早期に赤ちゃん訪 問を実施し、必要なサービスにつなげることで、不安なく妊娠期～子育て期を過ごせるように支援している。 里帰り出産の方には里帰り先での訪問を依頼し、里帰り先でも支援や利用できるサービスにつなげている。				
		(C) 数値目標達成に向けた課題等 R6年度(1月～12月)の数値(186人)及び目標値(191人)以上の出生数となったが、200人以下の出生数となっている。 出生数は全国的に減少傾向であり、出生数の増加に対し特効薬があるわけではないのも事実である。 本市では引き続き、妊娠された方に対する丁寧な関わり(パパママ教室等での不安を取り除いたり、初産の方には後期に面 談を行う等)に引き続き取り組んでいくことで、出生数の増加につなげていく。				
		(A) 課題解決等に向けた取り組み 希望する妊娠が成立するよう不妊治療費の助成支援を継続する。 出産後は育児の孤立化を防ぐため「にこなん」等、他課とも連携して子育て支援を行う。				
		(P) R8年度の取り組み 個々の価値観を尊重しながら、誰もが望むタイミングで安心して出産・子育てができる環境を整えるため、引き続き、各事業 の進捗状況等を確認し、選択と集中を以て、ライフステージに応じた切れ目のない支援を取り組むことで、香南市で子育て することの満足度向上につなげ、将来の出生数向上を目指す。				
		(D) これまでの取り組み				

令和7

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

重要業績評価指標(KPI)						
具体的な施策	(2) 就学期					
	数値目標	基準値	実績値		最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)
重要業績 評価指標 (KPI)	放課後児童 クラブの 利用者数(人)	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(最終)
		457	458			0
	年度ごとの 到達目標値		450	450	450	450
	達成評価 (A/B/C/-)		A			(- %)
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	(実績根拠) R4～6年度の4月1日時点の利用者数 (目標設定) 第2次香南市振興計画・第2期香南市教育振興基本計画 募集状況や支援員数等により受け入れられる人数は変化するため、R7年度以降も450人の受入維持を 目標値に設定する。 (事業内容) 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。 設置場所(12ヶ所):野市小(4)、佐古小(2)、野市東小(2)、赤岡小、香我美小(2)、夜須小				
	R7年度 (P)当初プラン	R7年度の放課後児童クラブの利用者数は目標値450人に対して、458(456)人 カッコ書き数字はR6年度 (野市小:179(178)人、佐古小:78(86)人、野市東小:75(71)人、赤岡小:17(16)人、香我美小:76(76)人、 夜須小:33(29)人) 放課後児童クラブを市内12ヶ所で開設し、共働き家庭等の児童(1～6年生)を対象として放課後から18時(一部18時30 分)まで遊びや生活の場を提供し、子どもたちの健全育成を図っている。 R7年度から、公営児童クラブにおいて学校のある日の平日に18時30分までの延長保育を実施する。 ただし、施設面では受け入れ可能であっても、常勤支援員が不足すると受け入れ人数を少なくせざるを得ない場合が生じか ねない状況であるため、引き続き支援員確保に向けた取り組みを行い、受入の維持につなげていく。				
	(D)取り組み内容	募集人数を上回る入会決定を行ったが、待機児童が発生した。 (再掲)R7年度より公営児童クラブにおいて学校のある日の平日に18時30分までの延長保育を実施。				
	(C)課題等	継続的な支援員の確保、特性のある児童への対応 ・歳入増加 ... 保護者負担金の見直し ・歳出削減 ... 支援員の配置基準の見直し				
	(A)今後の取り組み	市から業務委託を受けて保護者会が運営している夜須はーと児童くらははR8年度より市の直営となる。 入会選考基準の見直し(低学年を優先)を行い、入会基準を満たした1年生から順番に入会決定を行う。				
	R8年度 (P)当初プラン	R8年度の放課後児童クラブの利用者数は目標値450人に対して、452人を受け入れている。 野市小:179人、佐古小:92人、野市東小:74人、赤岡小:16人、香我美小:68人、夜須小:23人 放課後児童クラブを市内12ヶ所で開設し、共働き家庭等の児童(1～6年生)を対象として放課後から18時(一部18時30 分)まで遊びや生活の場を提供し、子どもたちの健全育成を図っている。 R				

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標	こどもまんなか香南市の実現					3
基本的方向	3.地域と連携した子育ての推進 (再掲) ...「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進 と同内容					
	子どもや若者、子育て当事者等が子育てを通じて地域と一緒に成長しあえる環境づくりを推進し、携わるすべての人が生きがいを感じ、活躍できる地域社会を創出するとともに、子どもたちの郷土愛・地域愛の素地を育みます。					
重要業績評価指標(KPI)						
具体的 な施策	(1) 世代を超えた交流					
重要業績 評価指標 (KPI)	数値目標	基準値	実績値		最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)
	三世代交流 事業参加者数 (人) 再掲	R5年度 1,036	R7年度 1,070	R8年度 0	R9年度 0	R9年度(最終) 0
	年度ごとの 到達目標値		1,200	1,200	1,200	1,200
	達成評価 (A/B/C/-)		B			(- %)
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	(実績根拠) 青少年育成香南市民会議本部事業への参加者数 (目標設定) 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏襲 (事業内容) 青少年育成香南市民会議本部や各地域単位で実施される世代間交流事業を関係団体と連携しながら事業を進める				
	R7年度 (P)当初プラン	三世代交流事業として、三世代交流風あげ大会と三世代交流風づくり、親子サイクリング教室等を開催している。伝統の遊びとそれに関連する伝統事業の企画を講じて、地域の希薄化が進むなか子育て中の親子等多様な世代を対象にした企画を各公民館とともにを行い、充実した地域づくりを図っていく。				
	(D)取り組み内容	○三世代交流パークゴルフ大会... R7.11.1開催 16名参加 ○三世代交流土佐風づくり教室... R7.11.9開催 12名参加, 11.29開催 12名参加, 12.6開催 4名参加 ○三世代交流風あげ大会 ... R8.1.11開催 1,000人参加(延) ○三世代交流モルック大会 ... R8.2.14開催 26人参加				
	(C)課題等	各事業ともに、リピート率が高いが、天候にも左右される部分はある。 また、三世代交流事業に足を運んでもらうための対応が課題。				
	(A)今後の取り組み	1月開催の新正風あげ大会には、幅広い広報の成果もあり多くの人に足を運んでもらえることができた。 R8年度以降についても土佐風づくり教室は、市内2～3カ所で開催予定。各地区で開催したモルック大会も、より多くの方に参加して頂けるよう周知に対する工夫を行っていく。 また、パークゴルフ大会のような地域の施設を活かした三世代交流事業も継続的にやっていく。 風あげ大会の市内外への広報を積極的に行う。				
	R8年度 (P)当初プラン	三世代交流事業として、三世代交流風あげ大会と風づくり教室、モルック大会やパークゴルフ大会などを開催する。 各地区を巻き込んで様々なイベントを展開すること				

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

具体的な施策	(1) 世代を超えた交流						
	数値目標	基準値	実績値			最終目標値	最終年度 達成評価 (A/B/C/-)
重要業績 評価指標 (KPI)	地域コミュニティ の活性化に資する スポーツ 関連イベントの 開催数(回) 再掲	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	R9年度(累計)	
		18	17			17	
	年度ごとの 到達目標値		15	20	20	55	
	達成評価 (A/B/C/-)		A				(- %)
	(実績根拠) (目標設定) (事業内容)	(実績根拠) 町民運動会、町内駅伝大会、各種市長杯実施回数 (目標設定) 第2次香南市振興計画後期基本計画・第2期香南市教育振興基本計画・香南市教育行政方針 (事業内容) スポーツを通じた活力あるまちづくりを推進するため、市民同士のコミュニケーションの促進や交流人口の拡大に寄与するさまざまなスポーツイベントの開催を支援する。 スポーツ関連団体等と連携して、スポーツを通じた経済・地域の活性化に努める必要がある。					
	R7年度 (P)当初プラン	新型コロナウイルスの影響もなくなり、数多くの大会やイベントが開催できるようになった。 地域コミュニティを維持・活性化していくためにも、軽スポーツ等を普及する等継続して取り組む。					
	(D)取り組み内容	○地域別の運動会(4回) : 10/5 野市地区 約300名、10/26 夜須地区 約300名、赤岡地区 約170名、吉川地区 約130名 ○駅伝大会(3回) : 1/11 香我美地区132名、1/12 野市地区141名、1/18 夜須地区 72名 ○市長杯(10回) : 5/4~5 市長旗中学校招待野球大会、12団体 191名参加 6/1・7 市長旗争奪小学生野球大会、8団体 120名参加 6/8 市長杯バドミントン大会、18団体 81名参加 / 市長杯卓球大会 28団体 127名参加 6/15 市長杯ソフトバレーボール大会 10団体 50名参加 9/13~14 市長杯サッカー大会(小学生の部) 23団体 480名参加 9/20~21 市長杯サッカー大会(中学生の部) 12団体 340名参加 10/26 市長杯パークゴルフ大会 50名参加 3/18 市長杯オープンゴルフ大会 34名参加 3/21 市長杯ミックスダブルステニス大会 42団体 84名参加 計17のスポーツ関連イベントを実施し、地域コミュニティの活性化につながっている。					
	(C)課題等	市民のスポーツ交流の場として、多くの大会やイベントが開催できている。					
	(A)今後の取り組み	引き続き、地域コミュニティを維持・活性化していくために、軽スポーツ等を普及する等継続して取り組む。					
	R8年度 (P)当初プラン	地域コミュニティを維持・活性化していくためにも、誰もが気軽にスポーツに取り組めるきっかけづくりとスポーツの楽しさを知ってもらえることができる軽スポーツ等を普及する等継続して取り組む。 また、モルックの貸出についても幅広く周知を行い、軽スポーツに触れる機会を拡充します。					
	(D)取り組み内容						
	(C)課題等						

令和7年度 香南市未来戦略 数値目標 及び 具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)評価書

基本目標	こどもまんなか香南市の実現		紐づく事業総括
基本的方向	4. 出会い・結婚に対する支援		
	子どもや若者、子育て当事者等が子育てを通じて地域と一緒に成長しあえる環境づくりを推進し、携わるすべての人が生きがいを感じ、活躍できる地域社会を創出するとともに、子どもたちの郷土愛・地域愛の素地を育みます。		
出会い 結婚	事業名 一覧	(出会い) 恋い・めぐりあい応援事業等 こうち出会いサポートシステム入会登録料補助事業 等 (結婚) 結婚新生活支援事業等	
	R7年度 (P)当初プラン	(出会い) 婚活支援に取り組む団体を増やすため、市内の企業・組織等に対し、「高知で恋しよ!!応援サイト」の応援団への登録を推進するとともに、恋い・めぐりあい応援事業費補助金の周知・活用に向けた働きかけを行う。 事業の開催について様々な面でサポートを行うことも説明していき、行政と各団体をはじめ地域全体で出会いの場の提供に対する理解を深め、少子化対策への機運を高める。 (結婚) 結婚新生活支援事業費補助金等の制度を、県や関係課と連携しながら周知していく。	
	(D)取り組み内容	(出会い) ・こうち出会いサポートセンターのイベントや登録会を広報に掲載、SNSでの情報発信を行う。 ・恋い・めぐりあい応援事業費補助金の活用PR。 (結 婚) ・結婚新生活支援事業費補助金の制度を市HPに掲載し周知を行う。 ・婚姻届を提出した際に、結婚新生活支援事業費補助金の制度紹介のチラシを配布し周知を行う。 ・市内の不動産業者へ結婚新生活支援事業費補助金のチラシを郵送し周知を行う。 ・移住者アンケートの理由が「移住」「結婚」「39歳以下」のチェックしている方に、結婚新生活支援事業費補助金の書類を郵送し周知を行う。	
	(C)課題等	・現在、恋い・めぐりあい応援事業費補助金は、相談はあるが活用まで結びついていない。 ・結婚新生活支援事業費補助金は、様々な周知により、相談や申請は多い状況であるが、毎年度、制度変更があるため、申請者が混乱しないよう変更点についての周知もしっかりと行っていく必要がある。	
	(A)今後の取り組み	・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の市内応援団体を訪問し、活用していただけるよう周知を強化する。 ・結婚新生活支援事業は、国の制度変更による申請要件に変更が生じる予定があるため、県と情報共有を図り、周知を行っていく。	
	R8年度 (P)当初プラン	(出会い) 婚活支援に取り組む団体を増やすため、市内の企業・組織等に対し、「高知で恋しよ!!応援サイト」の応援団への登録を推進するとともに、恋い・めぐりあい応援事業費補助金の周知・活用に向けた働きかけを行う。 事業の開催について様々な面でサポートを行うことも説明していき、行政と各団体をはじめ地域全体で出会いの場の提供に対する理解を深め、少子化対策への機運を高める。 (結婚) 結婚新生活支援事業費補助金等の制度を、県や関係課と連携しながら周知していく。	
	(D)取り組み内容		
	(C)課題等		
	(A)今後の取り組み		
担当課名	地域支援課	評価・検証 実施時期	令和8年3月末

